
仮面ライダー(まほうしょうじょ)まどか マギカ

作者 B

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

仮面ライダー（まほうしょうじょ）まどか マギカ

【Nコード】

N0803BA

【作者名】

作者B

【あらすじ】

見滝原中学に通う鹿目まどか。そんな彼女のクラスに転校生してきたのは……三つ編みに眼鏡の女の子！？さらに、謎の声に呼ばれてみれば、そこにはオールバックで犬が嫌いな転校生……あれ？なんか性格変わってね？そして、なんやかんやでピンチのまどかを助けに来たのは、蟹で牛な魔法少女だった。

これはまどか マギカに仮面ライダーの要素を加えてみたものです。ライダー勢は登場しません。ご注意ください。

（前書き）

これは思い付きで書いた一発ネタです。細かい所を華麗にスルー出来ない方はバックを押して下さい。

原作者 石森章太郎・虚淵玄

「はい、曉美さん。いらっしやい」

「転校生？」

「結構可愛いね、あの子」

ざわざわ、ざわざわ

制作 作者B

「あ、暁美ほむら、です……………よろしく願います」

「暁美さんは心臓の病気でずっと入院していたの。皆、仲良くしてあげてね」

「「「はい」」」

原作 仮面ライダー・魔法少女まどか マギカ

「ほむら、ちゃん……？」

「おめえが抱えてる……………BBQだったか？そいつをこっちに渡せ」

『それを言っならQBだよ』

「転校生……………あんた性格変わってない？それに何か赤いし……………」

——これは、世界の何処かで起こった——

「景色が変わった？」

「まどか！」

「！きゃっ！」

——逃れえぬ戦いに身を投じる——

「もう大丈夫。安心して」

「貴女は……？」

「ゆっくり自己紹介したいところだけど、まずはこの場を何とかしましょう」

「変身！」

——ある少女達の物語である——

「いくわよ！」

『Shoot vent』

「凄い……」

「何なの？あの人……」

「彼女は魔法少女。魔女と戦う戦士さ」

「！」

「全ての人間は、自らの欲望^{ねがい}を背負いその為に戦っている。しかし、その欲望^{ねがい}が背負いきれないほど大きくなった時、僕と契約して魔法少女となるのさ」

「あの転校生も、その……魔法少女なんだよね？それが何でまどかを襲ったわけ？」

「彼女が狙っていたのは僕さ。理由まではわからないけどね」

「私、人と親しくなるのが怖いよ」

「ママさんは独りぼっちなんかじゃないです」

「そうよね……そうなんだよね」

「もう、何も怖くない！」

『Final vent』

「ティロ・フィオーレ
世界の終焉！」

ガバッ！

「マミさん！」

「危ない！」

「！」

フアアアアン！

「危なかったな」

「貴女は……」

「ようやく俺様の出番ってわけだな。変身ッ！」

『Sword from』

「いたたた……あら、此処は？」

「仁美ちゃん！気が付い——危ない！」

「あら？」

『single mode』ガチャッ

バキュンッ！

「ひ、仁美ちゃん？今、携帯電話から何か発砲されたように見えたんだけど……」

「あらあら。いやですわ、まどかさん。これはただの携帯電話ですね。……護身用の」

「そんなの絶対おかしいよ！」

《キキーン！》

「ひっ！使い魔があんなにたくさん！」

「しょうがないですね」

カチャッ

『555 standing by——』

「変身！」

『complete』

「へ、変身したーっ！？」

「なかなか厳しいですね——ぐッ！」

「仁美ちゃん！」

『Nasty vent』キイイイイン

《キキーン！》

「今のは……」

「さやかちゃん登場——って仁美！何なのその格好!？」

「これは我が家がスポンサーになっている会社特製のパワードスーツですわ。さやかさんこそ、その格好はどうしたらのですか？」

「これは……まあ色々あって……」

「それじゃ、一気に行くよ!」

『Sword vent』

「でりゃあああ!」

『Final vent』

「はあああつ!」

「あんたが噂の新入り？これは子供の遊びじゃないんだよ」

「何よあんた！偉そうに！」

「まったく……礼儀知らずな奴だな。先輩への口の聞き方を教えてやるよ」

『S w i n g v e n t』

「うるさい！」

『S w o r d v e n t』

「あんた、魔法少女なんでしょ！？なんで一緒に戦おうと思わないの！？」

「わっかんないかなー。魔法少女は敵同士なんだよ」

「あんたみたいなのが居るから！」

「はあ、うざいなあ」

「！このっ！」

「キュウベえ！二人の戦いを止められないの！？」

「魔法少女である限り、彼女達は生きる為に戦い続ける。手を取り合うのは難しいね」

「私が……私が何とかしなくちゃ——」

『その必要は無いよ』

「！」

「ストップ。女性同士で争うなんて不毛だよ、お二人さん」

「なんだてめえは……」

「……転校生？」

「二人とも、僕に釣られてみる？」

「魔女の卵」グリーフシード」が無ければ魔法少女は契約モンスターに食われ、そのまま独り歩きしてやがて魔女となる。戦いを降りることなんて出来ないよ」

「そんな……」

「生きる為には、戦うしか無い。戦わなければ生き残れない」

「もうすぐワルブルギスの夜が来るの。お願い、力を貸して！」

「なんでそんなことが分かるんだ？」

「そういえば、魔法少女システムも私達の物と違うわね」

「……実は私、未来から来たの。絶望の未来を変える為に」

「なんだって？」

「か、鹿目さん！どうして此处に！？危ないよ！」

「危なくないよ。ほむらちゃんと一緒なら、きっと」

「鹿目さん……」

『だから言つたろ？お前は独りじゃねえってな』

『そつだよほむらちゃん。君にはまどかちゃんや僕らがついてる』

「モモタロス……ウラタロス……」

『さつさと片付けてこい。それで終わったら、またでっかいプリンを頼むぜ』

「うん……変身！」

『L i n e r f r o m』

「厳しい戦いになりそうね」

「まあ大丈夫だろ。こういう時の、私の勘は当たる」

「叶えたい願いは無くても、願いを守ることにはできる——ですわよね？ さやかさん」

「そうよ。私達が戦うのは義務とか使命とかじゃない。この街が…この街に住む人達が大好きだから戦うの」

「頑張つて、ほむらちゃん」

「うん！」

彼女達の先にあるのは、栄光ある未来か、破滅への道か

仮面ライダーまどか マギカ

to be continued……

（後書き）

とても分かりにくかったと思いますが、まどか マギカの世界をベ
ースに、魔法少女システムをそのまま龍騎に代えて、電王は未来か
らきたほむらに、科学技術でどうにかなりそうなファイズを仁美に
あてました。G3-X？ナニソレワカラナイ。魔法少女のデザイン
については、それぞれライダーを擬人化させたものだとな脳内変換し
て下さい。（因みに、マミはゾルダ、杏子はライア、さやかはナイ
トです。全員武器で選んでいるので、深い意味はありません）

本当はもっとライダーを登場させたかったのですが、これ以上はオ
リキャラを出さないと無理だったので断念しました。

あと、世界観を色々といじくったおかげで、原作《まどか マギカ
》に比べてかなりズレが発生してしまいました。（魔法少女は生身
の人間だとか、ほむらの逆行の理由が打倒ワルプルギスの夜になっ
ていることとか……）

最後になりますが、感想があればどんどんお寄せ下さい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0803ba/>

仮面ライダー(まほうしょうじょ)まどか マギカ

2012年1月1日22時47分発行